

環境アセスメント学会

2018年度 第17回大会プログラム

日程 2018年9月1日(土)、2日(日)

会場 法政大学市ヶ谷キャンパス ゲート棟5階 G503、G502、G501 教室他

大会スケジュール・プログラム概要

大会1日目(9月1日、土曜日)

午前	9:00- 大会受付 (ゲート棟5階ロビー)	
	10:00-10:50 (G503教室) 一般研究発表 セッション1 「政策、制度①」 3件	10:00-10:50 (G502教室) 一般研究発表 セッション3 「生態系①」 3件
	11:00-12:10 (G503教室) 一般研究発表 セッション2 「政策、制度②」 4件	11:00-12:05 (G502教室) 一般研究発表 セッション4 「生態系②等」 4件
午後	12:15-12:45 ポスターセッション・コアタイム (ゲート棟5階ロビー) (ポスター、技術展示は9月1日10:00～9月2日12:00) *ポスター及び技術展示は9月1日10時までに掲示・展示、9月2日12時までに撤去	
	12:50-13:30 昼食 (G503教室)	12:50-13:20 理事会 (G502教室)
	13:30-13:45 開会式 (G503教室) 開会挨拶 田中充(学会長・大会実行委員長)	
	13:45-16:35 企画委員会シンポジウム (G503教室) テーマ「環境アセスメントが活用されるための人・基盤づくり」 ・司会進行 佐藤律子(学会理事/日本工営(株)) (1) 趣旨説明 【13:45～13:50】(5分) 上杉哲郎(学会常務理事/㈱日比谷アメニス) (2) 報告 【13:50～15:30】(各20分) ・「環境アセスメント研修や情報支援等の取組」熊倉基之(環境省環境影響評価課長) ・「地方自治体における人づくり・基盤づくり」片谷教孝(学会副会長/桜美林大学教授) ・「環境アセスメント実務者の育成」工藤俊哉(日本環境アセスメント協会理事・資格教育センター長/㈱ポリテック・エイディディ) ・「大学における環境アセスメント教育」田中章(学会常務理事/東京都市大学教授) ・「市民・NGOの育成・基盤づくり」傘木宏夫(学会情報委員会委員長/NPO地域づくり工房) ～休憩5分～ 【15:30～15:35】 (3) パネルディスカッション 【15:35～16:35】60分 コーディネーター 村山武彦(学会副会長/東京工業大学大学院教授) 登壇者: 上記報告者5名	
	16:35-16:45 休憩	
	16:45-17:25 奨励賞受賞記念講演 (G503教室) 研究部門受賞者 錦澤滋雄(東京工業大学) 「再生可能エネルギーの社会的受容性の解明に向けて～風力発電を中心に～」 実務部門受賞者 土門優介((株)ドーコン) 「道路防災事業における鳥類保全に向けた環境保全措置検討ならびに企業活動における自主的環境アセスメントの普及に向けた検討について」	
	17:25-17:35 最優秀ポスター賞表彰 (G503教室)	
	18:00-19:30 懇親会 (ボアソナード・タワー25F スタッフクラブ)	

大会 2 日目 (9月2日、日曜日)

午前	9:00- 大会受付 (ゲート棟5階ロビー)		
	10:00-12:30 (G503教室) 特別集会 テーマ 「環境アセスメント資料の アーカイブ化に向けて」	10:00-11:40 (G502教室) 一般研究発表 セッション5 「再生可能エネルギー等」 6件	10:00-11:35 (G501教室) 一般研究発表 セッション6 「国際、生活環境」 5件
午後	<p>13:20- エクスカーション 豊洲新市場の見学</p> <p>13:20 キャンパス (集合場所等は後日参加希望者に連絡) 出発、バスにて移動</p> <p>14:00~16:00 豊洲新市場 (水産卸売場棟、水産仲卸売場棟、青果棟など) 約5kmの徒歩見学</p> <p>16:00 バスにて現地出発、東京駅にて希望者は途中下車 (予定)</p> <p>17:00頃 法政大学市ヶ谷キャンパスに帰着</p> <p>※見学施設の概要は、http://www.shijou.metro.tokyo.jp/toyosu/pdf/book/30pamphlet.pdf をご覧ください。</p> <p>※エクスカーションは、40名まで先着順に受け付けます。なお、往復のバスの座席は25席程度となりますので、参加者多数の場合には、立席乗車をお願いすることがあります。</p>		

【プログラム詳細】

特別集会 「環境アセスメント資料のアーカイブ化に向けて」

■日時： 大会 2 日目 2018年9月2日 (日) 10:00~12:30

■場所： 法政大学市ヶ谷キャンパス ゲート棟5階 G503

・司会：赤松宏典 (学会情報委員会/アジア航測株)

1) 話題提供 【10:00~11:45】

- ・報告 1：環境アセスメント資料のアーカイブ化をめぐる諸課題 (15 分)
傘木宏夫 (学会情報委員長/NPO地域づくり工房)
- ・報告 2：環境省における環境影響評価図書の持続的公開について (15 分)
湯本淳(環境省環境影響評価課課長補佐)
- ・報告 3：環境アセスメント業務からみたアーカイブ化の意義と課題 (15 分)
浦郷昭子 (学会理事/(有)レイヴン)
- ・報告 4：地域開発と公害問題に関するアーカイブズ活動の意義 (30 分)
岡田知弘 (京都大学大学院教授/同経済資料センター長)
- ・報告 5：環境アセスメント資料のアーカイブ化をめぐる法律問題 (30 分)
早川和宏 (東洋大学教授/日本アーカイブズ学会副会長)

~休憩 (10 分) ~ 【11:45~11:55】

2) 意見交換・まとめ 【11:55~12:30】

コメンテーター：田中充 (学会長/2018 年大会実行委員長)

一般研究発表プログラム（注：肩書きは報告者のみ、A、Bは発表時間による分類）

大会1日目【9月1日（土）】

第一会場 G503教室

セッション1「政策、制度①」 座長：石野耕也(学会理事) (座長補佐：土門優介)

1	10:00-10:15 B	「気候変動適応策の実施と環境影響評価制度の課題」 ○田中充（法政大学）、小河誠、馬場健司
2	10:15-10:35 A	「再生可能エネルギー導入拡大に向けた環境アセスメントの迅速化の取組」 ○會田義明（環境省）、泉知行
3	10:35-10:50 B	「法アセスにおける主務大臣意見等の分析に関する研究」 ○岩澤進（(一社)日本環境アセスメント協会／(株)千代田コンサルタント）、濱田敏宏、皆川克志、池澤紀幸、橘川泰憲、酒井剛、佐々木孝太郎、芝野友章、竹野茂樹、田中亨、中村純也、椿貴博、永島右光、長田篤佳、武藤吉昌、山岸丈二、沖山文敏

セッション2「政策、制度②」 座長：梶谷修(学会常務理事) (座長補佐：伊東英幸)

4	11:00-11:20 A	「現行の条例アセスメント制度におけるポジティブ・アセスメントに関する研究」 ○石崎伸次（(一社)日本環境アセスメント協会／大成建設(株)）、柴田勝史、松山為時、藤岡義史、登山暁夫、湯浅晃一、濱田敏宏、沖山文敏
5	11:20-11:40 A	「SDGsと持続可能性アセスメント」 ○原科幸彦（千葉商科大学）
6	11:40-11:55 B	「自主環境アセスメントの認証制度構築に向けて」 ○吉田豪（(一財)日本環境アセスメント協会／大日本コンサルタント(株)）、安藤伸彦、内山和也、大谷正太、土門優介、中田俊宏
7	11:55-12:10 B	「戦略的環境影響評価におけるティアリング制度の日本と諸外国の比較に関する研究」 ○後藤圭輔（東京都市大学）、田中章

大会1日目【9月1日（土）】

第二会場 G502教室

セッション3「生態系①」 座長：石川公敏(学会理事) (座長補佐：長岡篤)

1	10:00-10:20 A	「環境音モニタリングによる生態系評価手法の開発に向けた基礎研究」 ○相野田幸司（東京都市大学）、田中章
2	10:20-10:35 B	「深海生態系のリスク管理に関する一提案」 ○柴田由紀枝（横浜国立大学）、藤倉克則、松田裕之
3	10:35-10:50 B	「国内における生物多様性オフセット制度の導入に向けた検討～米国のIn-Lieu-Feeプログラムについてのケーススタディ～」 ○加藤靖広（(一社)日本環境アセスメント協会／日本工営(株)）、新井聖司、小笠原奨悟、辻阪吟子、西澤正、吉沢清晴、川村昂史、田中章

セッション4「生態系②等」 座長：真田純子(学会理事) (座長補佐：柴田裕希)

4	11:00-11:15 B	「ハビタット・ヘクター法による里山の生物多様性オフセット評価の試行」 ○東郷有城（(一社)日本環境アセスメント協会／(株)東京久栄）、渡部陽介、井出功一、才木祥史、青島正和、城本太郎、堀吉博、松岡明彦、渡邊千佳子、田中章
5	11:15-11:30 B	「環境アセスメント対象事業における代償措置の適用の検討」 ○小林撰郎（(一社)日本環境アセスメント協会／東京パワーテクノロジー(株)）、小堀隆憲、山下道子、都留純秀
6	11:30-11:45 B	「緑地認証システムを取得した事例の傾向分析」 ○小松裕幸（(一社)いきもの共生事業推進協議会／清水建設(株)）、伴武彦
7	11:45-12:05 A	「二酸化炭素回収・貯留（CCS）の長期維持管理と環境影響評価手法に関する考察」 ○小松英司（明治大学）、柳憲一郎

大会2日目【9月2日（日）】

第二会場 G502教室

セッション5「再生可能エネルギー等」 座長：宮下一明(学会常務理事) (座長補佐：田中亨)

1	10:00-10:15 B	「地熱発電所の環境アセスメントの現状と課題」 ○岡田真秀（東北緑化環境保全(株)）、門脇 忠夫、木村 啓
2	10:15-10:35 A	「太陽光発電事業に係る自主的な環境アセスメントに関する検討」 ○尾原正敬（(一社)日本環境アセスメント協会／(株)千代田コンサルタント）、青木 淳、上田夏希、小野寺 一剛
3	10:35-10:50 B	「太陽光発電の設置における環境影響の現状と課題」 ○郡島啓（環境省）、湯本淳
4	10:50-11:10 A	「風力発電に係るゾーニングの取組について」 ○坂本万純（環境省）、湯本淳、會田義明
5	11:10-11:25 B	「太陽光発電所建設と生物多様性保全の両立に関する制度研究」 ○川村昂史（東京都市大学）、田中章
6	11:25-11:40 B	「CCS（二酸化炭素回収・貯留）の社会的受容性に関する市民の認識-北海道苫小牧市を事例として-」 ○長岡篤（東京工業大学）、村山武彦、錦澤滋雄

大会2日目【9月2日（日）】

第三会場 G501教室

セッション6「国際、生活環境」 座長：沖山文敏(学会常務理事) (座長補佐：矢代幸太郎)

1	10:00-10:20 A	「アジア地域における環境アセスメントの国際展開及びインフラ輸出について」 ○村井辰太郎（環境省）、湯本淳
2	10:20-10:40 A	「学校教育の場を通じた都市インフラ整備事業に関するコミュニケーション・理解促進・合意形成支援の在り方について：ケニア国ナイロビ市都市開発及びニカラグア国マナグア市都市開発マスタープラン策定調査でのSEA実施事例をもとに」 ○林田貴範（㈱国際開発センター）
3	10:40-11:00 A	「環境アセスメントにおける医療施設（特にサイレン音）の取扱いについて」 ○上田健二（環境省）
4	11:00-11:20 A	「実測に基づく風車騒音の伝搬特性検討の試み」 ○上明戸昇（㈱建設環境研究所）、高橋雅也
5	11:20-11:35 B	「条例アセスメント制度における首長意見の形成期間に関する研究」 ○後藤和郎（(一社)日本環境アセスメント協会／アジア航測(株)）、森本尚弘、古澤輝雄、運天さつき、湯浅晃一、濱田敏宏、沖山文敏

ポスターセッション（注：肩書きは主報告者のみ）

【コアタイム 9月1日（土）12:15-12:45】

ゲート棟5階ロビー ポスター会場

※「若手部門」は優秀ポスター賞の候補となります。

1	「風力発電の環境アセスにおける大気質の迅速化検討」 ○高橋雅也（㈱日立パワーソリューションズ）、見上伸、鷺谷隆太、奥地城夫、小林朋樹、東一樹、魚崎耕平	一般
2	「北海道の猛禽類の分布・生息特性」 ○工藤晃央（北海道猛禽類研究会／㈱ドーコン）、藤巻裕蔵、天野拓郎、石原英昭、石山浩一、一北民郎、大坪二郎、紀國聡、小林功、瀧本育克、玉田克巳、玉田祐介、土屋尚、平井克玄、山田芳樹、山口珠輝、中森達	一般
3	「PITタグを用いた小型哺乳類のオーバーパス利用実態調査について(予報)」 ○中園美紀（㈱構研エンジニアリング）、浅利裕伸、丸山立一、厚芝源太郎、山崎穂菜美	若手
4	「UAVを用いた針葉樹林と広葉樹二次林の樹高・炭素固定量の推定手法に関する研究」 ○高木洋明（名古屋大学）、林 希一郎、杉田 暁、町村 尚、藤本 彩菜	若手
5	「木質バイオマス発電の地域的受容性に関する研究」 ○吉凱文（東京工業大学）、錦澤滋雄、村山武彦、長島匠	若手
6	「渡り鳥の生息環境の保全・回復を目的とした伐り株移植」 ○矢野愛紗実(㈱ドーコン)、櫻井善文、佐藤公俊	若手
7	「基礎自治体における空き家率の空間分布推計手法～千葉県船橋市を事例に～」 ○渡邊豊（㈱ザイマックス）、伊藤夏生、柴田裕希	若手
8	「日豪の宿泊付きエコツアーにおける事業者の取り組みに関する比較分析」 ○大塚純（日本大学）、伊東英幸、藤井敬宏	若手
9	「エゾシカと自動車の衝突事故の発生要因分析」 ○鷺尾朋紀（日本大学）、伊東英幸、藤井敬宏	若手
10	「環境・社会的条件を考慮した地熱導入ポテンシャル評価」 ○長島匠（東京工業大学）、村山武彦、長岡篤、錦澤滋雄	若手
11	「北九州市環境影響評価条例施行 20 年を迎えるにあたって」 ○森井春樹（北九州市）	若手

技術展示

ゲート棟5階ロビー 技術展示会場

1	「環境保全に配慮した発電所冷却水の取放水システム」	(株)東京久栄
2	「音声解析ソフトを用いた効率的なシマフクロウ (<i>Ketupa blakistoni</i>) 生息状況調査について」	パシフィックコンサルタンツ(株)
3	「デジタル画像を用いた「見た目アオコ指標」のアオコレベル自動判定の試み」	八千代エンジニアリング(株)
4	「上層気象調査における気象観測用ドローン活用の検討」	ムラタ計測器サービス(株)
5	「再生可能エネルギー発電の環境アセスメント技術（風力発電所の鳥類飛翔調査用 3次元カメラシステム）」	(一財)電力中央研究所
6	「再生可能エネルギー発電の環境アセスメント技術（地熱発電所の大气拡散評価技術）」	(一財)電力中央研究所

大会会場のご案内

■交通についてのご案内（公共交通機関をご利用願います）

最寄り駅からのアクセス

【JR線】 総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分

【地下鉄線】 都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 10分

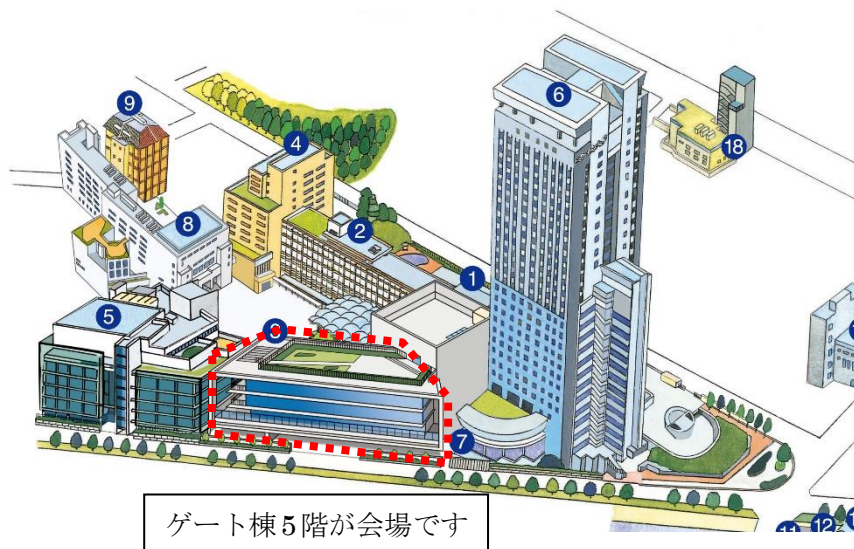
【地下鉄線】 東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分

【地下鉄線】 東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩 10分

【地下鉄線】 東京メトロ南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分

【地下鉄線】 都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩 10分

■法政大学市ヶ谷キャンパスの位置・構内図



■会場周辺

外濠校舎にコンビニがあります。その他、大学周辺には食事をできる場所が多数あります。

■宿泊についてのご案内（事務局からのあっせんはありません）

都内にホテル等が多数あります。

企画委員会主催シンポジウム 「環境アセスメントが活用されるための人・基盤づくり」

■企画趣旨

環境アセスメント制度はこれまで実績を積み上げてきているが、SDG s の達成に向けて、今後の社会経済への一層の環境配慮の組み込みのためには、さらに、スモールアセスを含めた環境アセスメントの活用が期待される。そのため、環境アセスメントの果たす役割について多くの関係者の理解と、それを実現するための情報公開・支援等の基盤づくりが重要である。今回の公開シンポジウムでは、環境アセスメントが活用されるための人・基盤づくりをテーマに、各主体の育成や情報支援等の基盤づくりについて、それぞれの分野の専門家からの報告とパネルディスカッションを行う。

■日 時

2018年9月1日(土) 13:45～16:35

■場 所

法政大学市ヶ谷キャンパス ゲート棟 5階 G503

■進 行

・司会進行：佐藤律子(学会理事/日本工営株)

1) 趣旨説明 【13:45～13:50】

上杉哲郎(学会常務理事/株日比谷アメニス)

2) 報告(各20分) 【13:50～15:30】

(1) 「環境アセスメント研修や情報支援等の取組」 【13:50～14:10】
熊倉基之(環境省環境影響評価課長)

(2) 「地方自治体における人づくり・基盤づくり」 【14:10～14:30】
片谷教孝(学会副会長/桜美林大学教授)

(3) 「環境アセスメント実務者の育成」 【14:30～14:50】
工藤俊哉(日本環境アセスメント協会理事・資格教育センター長/株ポリテック・エイディディ)

(4) 「大学における環境アセスメント教育」 【14:50～15:10】
田中章(学会常務理事/東京都市大学教授)

(5) 「市民・NGOの育成・基盤づくり」 【15:10～15:30】
傘木宏夫(学会情報委員長/NPO地域づくり工房)

～休憩5分【15:30～15:35】～

3) パネルディスカッション 【15:35～16:35】

コーディネーター 村山武彦(学会副会長/東京工業大学大学院教授)

登壇者：上記報告者5名

環境アセスメント学会 2018 年度大会・特別集会 「環境アセスメント資料のアーカイブ化に向けて」

■企画趣旨

学会の働きかけに呼応して、環境省において環境アセスメント図書の持続的公開が本年4月より始まった。今後は、この動きが地方自治体に波及することや過去の図書に及ぶこと、さらに民間を含め環境アセスメントを通じて作成された各種資料が適切に保管され、有効に利用できる社会をめざしていくことが期待される。そこで、環境アセスメント資料のアーカイブ化をめぐる論点を様々な立場から論じていただき、今後の方向性を探りたい。

■日 時

2017年9月2日（日）10:00～12:30

■場 所

法政大学市ヶ谷キャンパス ゲート棟5階 G503教室

■進 行

・司会：赤松宏典（学会情報委員会／アジア航測株）

- 1) 話題提供 【10:00～11:45】
 - (1) 環境アセスメント資料のアーカイブ化をめぐる諸課題 【10:00～10:15】
傘木宏夫（学会情報委員長／NPO地域づくり工房）
 - (2) 環境省における環境影響評価図書の持続的公開について 【10:15～10:30】
湯本淳（環境省環境影響評価課課長補佐）
 - (3) 環境アセスメント業務からみたアーカイブ化の意義と課題 【10:30～10:45】
浦郷昭子（学会理事／(有)レイヴン）
 - (4) 地域開発と公害問題に関するアーカイブズ活動の意義 【10:45～11:15】
岡田知弘（京都大学大学院教授／同経済資料センター長）
 - (5) 環境アセスメント資料のアーカイブ化をめぐる法律問題 【11:15～11:45】
早川和宏（東洋大学教授／日本アーカイブズ学会副会長）

～休憩 10分 【11:45～11:55】～

- 2) 意見交換・まとめ 【11:55～12:30】

・コメンテーター：田中充（学会長／大会実行委員長）